

**【 アドミッションポリシー 】**

博士課程前期課程

キリスト教伝道者コースにおいては、所属教会からの推薦を得られ、かつ幅広い神学的知識と思索力を有し、多様な宣教の現場で活動する高い志を持つ者

キリスト教思想・文化コースにおいては、受洗の有無を問わず、幅広い神学的知識と思索力を有し、キリスト教が人類の歴史の中で生み出してきた思想や文化的財などの学際的領域に興味を持つ者

**【 目指す学生像 】**

博士課程前期課程

- 神学において専門的な知識を修得し、思索を深めている
- 各自の専門領域において、優れた特色ある研究を行う能力を有している
- 伝道者コースの学生は、礼拝の指導者、説教者、牧会者として宣教の現場で直ちに活躍しうる力量を有している

- 聖書) 旧約聖書学特殊講義 A~D
- 聖書) 新約聖書学特殊講義 A~D
- 歴・文) 歴史神学特殊講義 A~D
- 歴・文) 宗教学特殊講義 A~D
- 歴・文) キリスト教文化学特殊講義 A~D
- 組織) 組織神学特殊講義 A~D
- 組織) キリスト教思想特殊講義 A~D
- 実践) 実践神学特殊講義 A~D
- 実践) 臨床牧会学特殊講義 A~D
- 聖書) ヘブライ語聖書原典研究 A~D
- 聖書) 新約聖書原典研究 A~D
- 外国語専門書講読 A~D
- 教会実習 A・B
- キリスト教社会実習 A・B
- 臨床牧会実習
- 伝) 牧会学総合演習
- 伝) 教会経営学演習
- 伝) 礼拝学演習 A・B
- 伝) 説教学演習 A・B
- ※ 研究演習 A~D
- ※ [専門分野共通必修科目]
- 伝) [伝コース必修]
- 〇〇) [専門分野選択必修科目]
- 伝) [伝コース選択必修科目]
- [選択必修科目]
- [選択科目]

神学研究科では、神学を専攻領域とし、その中に、4つの研究分野（聖書分野、歴史・文化分野、組織分野、実践分野）を設けている。学生各自が研究主題を選び、指導教員との学問的、人格的な触れ合いによって、それを深め、学位（修士、博士）を取得できるよう、研究と教育を行って

博士課程前期課程の教育目標を下記の通り定め、本課程に2年（4学期）以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および所定の試験に合格した者に修士の学位を授与する。

それぞれの研究分野における専門的知識等の習得を目指し「特殊講義」を配置する。

神学において専門的な知識を修得し、思索を深めている

\*1)

各自の専門領域において、優れた特色ある研究を行う能力を有している

聖書を原典で読む能力の涵養のために原典講読を配置する。

キリスト教の本質にふれつつ、幅広くキリスト教に関する知見を養い、多元化社会において深い見識をそなえ、具体的な社会や世界の問題を発見し、これとキリスト教的な立場から取り組み、解決できる力量を身につけている

神学の専門的知識に加えて言語力の向上を目指して「外国語専門書講読」を配置する。

教会をはじめとした現場での実習を伴う科目を配置する。

伝道者コースにおいては、宣教に携わる能力の涵養のため、牧会、説教、礼拝、教会経営について「演習科目」を配置する。

キリスト教伝道者コースにおいては、礼拝の指導者、説教者、牧会者として宣教の現場で直ちに活躍しうる力量を身につけている。さらに、教会などのフィールドで経験したことを理論的に反省し、それを再び実践へと活かすことのできる能力を有している

研究能力の涵養と、修士論文の執筆の指導のため「研究演習」を配置する。

修士論文を執筆できる能力を有している

注1) CPと科目名を結ぶ矢印は、カリキュラムマップにおける「◎（科目の主目的）」をもとにしている。「○（関連目的）」を含めての詳細は、カリキュラムマップを参照のこと。